

平成 21 年 11 月 9 日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号  
 会 社 名 GMO インターネット株式会社  
 代 表 者 代表取締役会長兼社長 熊 谷 正 寿  
 (コード番号 9 4 4 9 東証第一部)  
 問い合わせ先 専 務 取 締 役 安 田 昌 史  
 グループ管理部門統括  
 T E L 0 3 - 5 4 5 6 - 2 5 5 5 (代)  
 U R L <http://www.gmo.jp>

平成 21 年 12 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

1. 連結業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

当社は、平成21年2月12日「平成20年12月期決算短信」において発表いたしました平成21年12月期 (平成21年1月1日～平成21年12月31日) の連結業績予想について、下記のとおり修正致します。

(1) 平成 21 年 12 月期 業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 21 年 2 月 12 日付 前回予想 (a)	39,300	4,600	4,500	1,900
今回発表 (b)	38,000	4,600	4,500	2,200
増減額 (b-a)	△1,300	—	—	300
増減率	△3.3%	—	—	15.8%
(ご参考) 前期実績 (20 年 12 月期)	37,247	4,143	4,031	2,110

(2) 修正の理由

昨今の景気低迷を背景に企業における広告抑制の動きが一層強くなった影響を受けて、広告代理事業における売上高が当初予想より下回る見込みとなりました。一方、インターネットメディア・検索関連事業における JWord や SEO などの SEM メディアの販売が堅調に推移し当初予想を上回って推移しておりますが、広告代理事業の減収幅を補うには至らない見込みです。この結果、売上高予想を当初予想比 1,300 百万円減の 38,000 百万円に修正致します。売上高は減少見込みではありますが、利益率の高い SEM メディアの販売が増加したことにより、営業利益及び経常利益は当初予想を達成できる見込みであるため、当初予想を据え置いております。

当期純利益については、当初見込んでいた法人税等の負担率より実績の負担率が低くなり税金費用が減少すること、少数株主利益が当初見込みよりも減少することから、前回予測比 300 百万円増加

の2,200百万円に修正いたします。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実績の業績等は、業況の変更等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上